



熊本県 介護の魅力発信事業



現在

介護人材の不足

が

大きな問題になっている



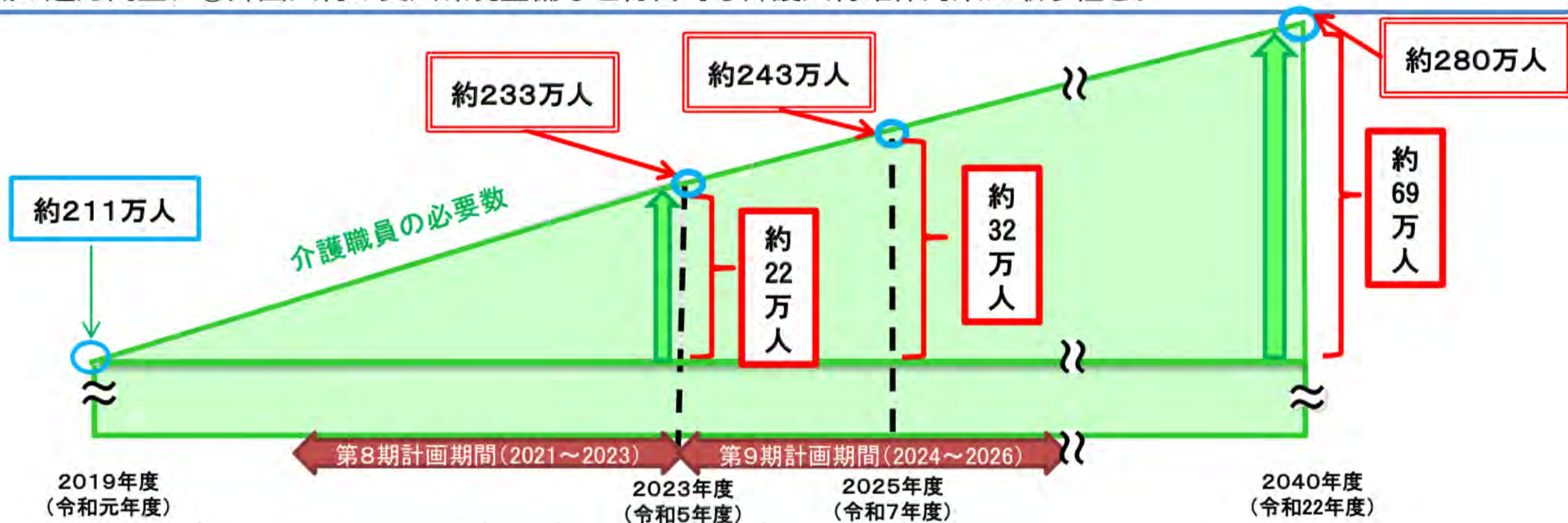
第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について

- 第8期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づき、都道府県が推計した介護職員の必要数を集計すると、
 - ・ 2023年度には約233万人（+約22万人（5.5万人/年））
 - ・ 2025年度には約243万人（+約32万人（5.3万人/年））
 - ・ 2040年度には約280万人（+約69万人（3.3万人/年））となった。

※（）内は2019年度（211万人）比

※ 介護職員の必要数は、介護保険給付の対象となる介護サービス事業所、介護保険施設に従事する介護職員の必要数に、介護予防・日常生活支援総合事業のうち従前の介護予防訪問介護等に相当するサービスに従事する介護職員の必要数を加えたもの。

- 国においては、①介護職員の処遇改善、②多様な人材の確保・育成、③離職防止・定着促進・生産性向上、④介護職の魅力向上、⑤外国人材の受入環境整備など総合的な介護人材確保対策に取り組む。



1年間に3.3万人増やさなければならない！

地域活性化プロジェクト

城北高校



令和4年度 医療福祉科

地域活性化とは？

- それぞれの地域の経済や社会、文化などの動きの活性化
- 地域の人々の意欲向上

地域おこしや地域づくり



11月2・3日 Jミッション



介護体験



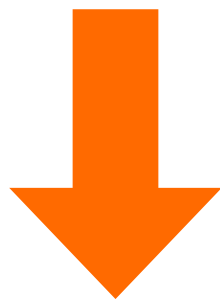
防災教室



服のカプロジェクト



Jミッション



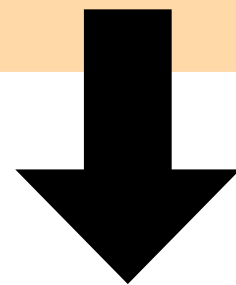
城北生の



使命

医療福祉科生

実習施設や地域の方々と
関わる機会が多い



地域貢献できる人材に
ならなければならない！

<地域活性化の目的>

課題解決能力

発信力

協調性

地域貢献

Philanthropy



介護体験

福祉を知り、

福祉を身近に感じてもらいたい！



障害者スポーツ体験

高齢者疑似体験



介護体験

多様な人の生き方 生活のあり方

高齢者
思いやり
学習者



互いに助け合う → 優しさ



人生観

社会観

視野の拡大

福祉や介護について改めて

考えるきっかけになった



介護に対する悪いイメージ

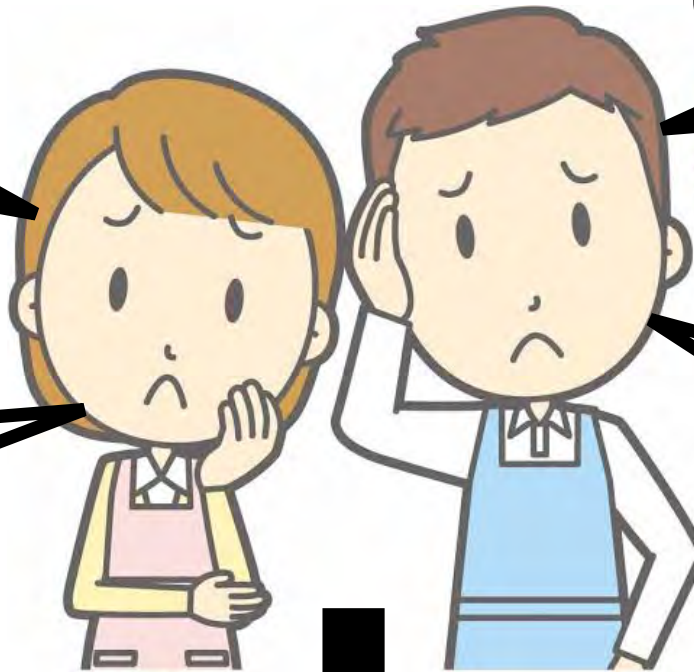
4K

きつい

危険

汚い

給料が
少ない



介護人材の不足

福祉の良さを発信していく必要がある！

多様化

複雑化

高度化

専門的知識や技術
+

個別的・多様なケア

福祉のスペシャリスト
を目指していく！





多様性を認め合える
地域共生社会

防災教室

～災害による被害を未然に
防ぐ方法を学ぶ～



台風



大雨



日本

災害大国！



地震



火山噴火



山鹿市社会福祉協議会

市役所

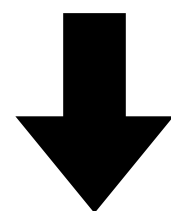
防災意識を高めてもらおう
きっかけ



災害への備え方
災害時の対処法



災害における危険の認識 日常的な備え



自分の命



家族や地域の人々の命も守る

地域との繋がり



発信源！

城北高校

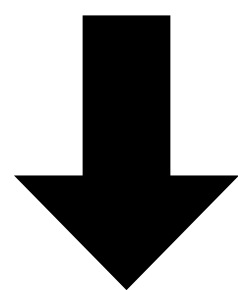


届けよう！服の力 ～城北プロジェクト～



世界には・・・

約**7950万人**



難民の方々に
洋服を寄付



私たちも服を集め

1人でも多くの方に服を届けたい！



おグリーンコーポ



パートナーシップ

1 貧困を
なくそう



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



3 すべての人に
健康と福祉を



13 気候変動に
具体的な対策を





城北高校 医療福祉科だより

生涯大学講座

本校生徒50名で山鹿市の講座に参加させて頂きました。私たちは山鹿で学べることに感謝をし地域活性化プロジェクトに取り組んでいます。

- 【山鹿の食材を使って弁当開発】
- 【健康日本一をめざして灯籠エクササイズ】
- 【高齢者サロンでネット被害防止の呼びかけ】

様々な活動を通して山鹿を元気にしたいと考えています。

回収日 R4.7.25~10.31
場所 城北高校 武道館棟 1階

洋服の回収をします!

届けよう! 服の力! 城北プロジェクト

SDGsという議論が持ち上がり私たちも未来を守るためにこのプロジェクトを立ち上げ取り組んでいます。ご家庭に眠る使用可能な洋服を集め難民の方々に送る活動です。今年度は、山鹿地域で洋服を循環させる活動もできればと考えています。ご協力お願いします!



集まった服の数

4000枚

ガレッジセール



売上金を活用し、難民の方々に
服を送ることができた！

成果

SDGsを身近なものとして考える
きっかけになった



個々の力は少なくともも集結する

ことで大きな力に変わる

洋服の役割

体温の調節

身を守る

プラスの効果

人を笑顔で幸せにする

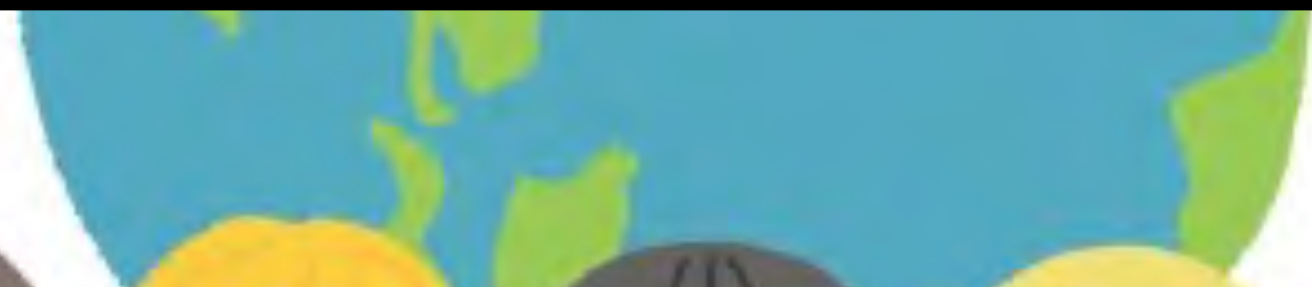
力がある！



地域や社会、世界を元気にしたい！



全ての人の健康と福祉を



地域多世代まちづくり ～オレンジ教室～

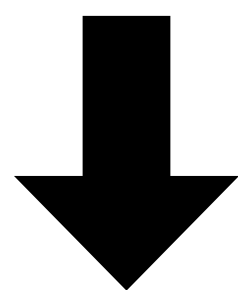


認知症の理解を深める学習会

オレンジ教室



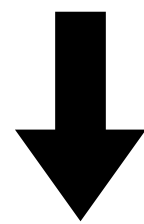
6人に1人が認知症



正しい知識が必要になる！

若い世代

**認知症当事者の思いを
学び、知ってもらおう**



認知症を身近に

感じてもらうきっかけ



小中学生に行った認知症に関する

アンケート

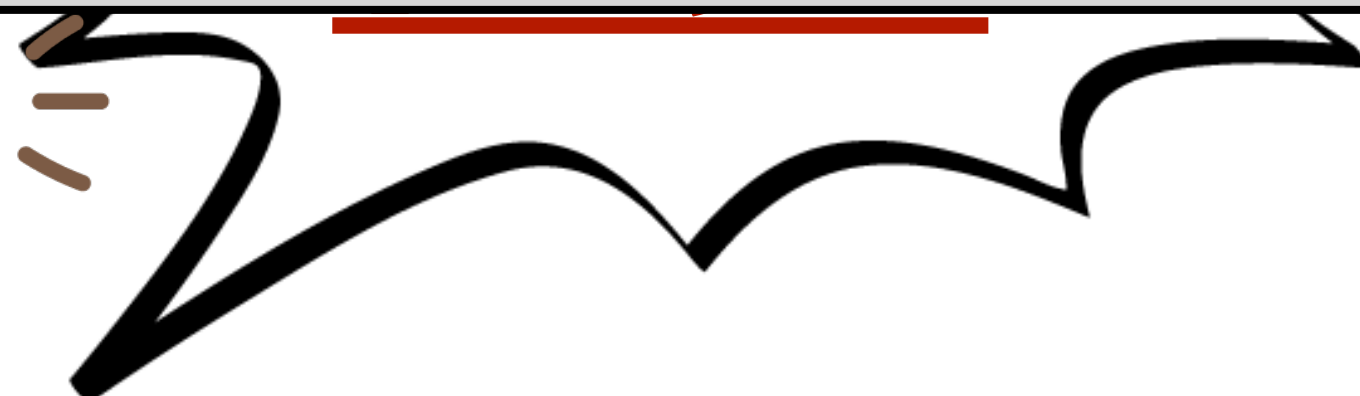
600名

実施

間違えた知識

認知症の人が暮らしやすい山鹿市

ではない！



授業内容

認知症のイメージ改善

正しい知識の定着

認知症の方と過ごす上
での生活の工夫



オレイン教室
令和4年度

成果

- ・ 楽しみながら学習できた
- ・ 積極的に学びを深めることができた
- ・ **認知症の方の立場**に立って
考えることができた



人を思いやる気持ち
を育むことができた



課題

発信の場が一部の小中学生に限られている

山鹿市全体に広げることができなかった

次年度から

地域全体に発信する機会
を設けていきたい



誰もが

自分らしく暮らし

続けることができる



山鹿市の実現！



< 地域活性化の総括 >

● 成果

他学科の生徒、先生方、保護者や
地域の方々に向けて、主体的に発信できた！

地域貢献
の第一歩



課題解決能力

発信力

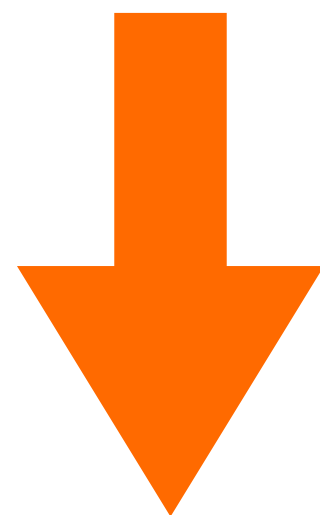
協調性



●課題

取り組み実施後には

アンケートに答えてもらう



今後の取り組みや活動に
つなげていきたい！



山鹿市



笑顔の輪

地域の輪



